

# 路上教習

作・中野 守（中野劇団）

登場人物

教習生（男）

川原教官（男）

老人（男）

金髪の若い教習生が路上教習で運転している。助手席には堅物そうな教官、後部座席には老人が座っている。教官、膝に査定のノートを置いている。シートベルトを締める教習生。

教官 はい、そしたら今日から路上教習ですねー。今までやったことちゃんと覚えてたらそんな怖くないですからねー。はいそしたら出発しまーす。

教習生、エンジンキーを回そうとする教習生。

教官 ルームミラー確認しましたかー。

教習生 あ。

教習生、慣れない仕事でミラーを調整。

教官 …はい。はいじゃあエンジンかけてー。

教習生、エンジンキーを回し、ギアチェンジ。

教官 …サイドブレーキ上がったまんまやでえ。いつもできてることやからね。いつも

やってるやんねえ。一回やったこと覚えようなー。

教習生 っと…。

サイドブレーキが下がらない。

教官 焦らなーい。焦らなーい。(ボタン) 押してこう(下げる)！

間。

老人 …いつもそんな教え方なんか？

教官 すいません所長。はい出発しますー。…いちいちそこ見ないねー。  
教習生 …。

間。

教官 いつまで一速で走るんやあ？

教習生 …。

教官 はい、そこ左折します。ウインカー出して。

車を停止させ、左折の指示器を出す教習生。

教官 はい目視。

チラッと目視する教習生。

教官 …（採点をつけながら）今のは見たフリやねえ。

「しまった」という顔の教習生。

老人 …川原君。もう少し言い方ってもんがあるやろうが。

教習生 嫌いねん。親父。

運転中。

教官 …はい。対向車注意してねー。

教習生 …。

教官 …そこで停まる。…そこで停まる。…そこで停まる！

老人 川原君よ！ ちょっと待てや川原君よ！

教習生 煩いねん親父！ これでええねん！ これが教習やねん！ 何で乗ってんねん！

老人 生徒かてそんな言い方されたらやる気なくすやろうが！

教習生 親父の声がやる気なくすねん！ 何で乗ってるねん！

教官 はい発進！

老人 発進ちやうわ！

教習生 親父ホンマ黙ってろや！

教官 …さっきの一旦停止の標識あったやろ？

教習生 すいません。

老人 過ぎたことをいつまでぐちぐち言うてんねや！

教習生 今は俺が悪かったから教えてくれてんねやろ！

教官 (教習生の首を掴んで正面を向かせ) ほら前見る！

老人 ごるああああ！ 何やってくれとんねん！ 生徒やぞ！ 俺の息子の前に生徒や

ぞ！

教習生 ええねん！ 俺のためにやってくれてんねん！

老人 パワハラか！

教習生 (パワハラは) 親父やろうが！

老人 カワハラか。パワ原君。

教習生 何を言うてんねん。

教官 …ほら、歩行者多いから気をつけて。

老人 何でこんな歩行者多いコース選ぶねん！

教習生 それを練習しに来てんねん！ 集中できへんから！ ホンマ黙ってて！

運転中。

教官 はい、うん、いいよ。

老人 …(教官の持つ採点表に手を伸ばし) そこ一列判子押そうか。

教官 いえ、それは…。

教習生 できるわけないやろ！ そんなスタンブカードみたいな押し方！

老人 そうそうアキラアキラ、判子って言うたら——

教習生 (所長に肩を掴まれて) やめろや！

老人 判子って言うたらこないだお母さんにな「判子ついて下さい」って緑色の書類を

渡されてさあ。

教習生 ……何で今そんなこと言うねん！

老人 (窓の外に) 誰が押すかあ！

教習生 煩ーい！

間。

老人 ……(窓の外に) 海見にいこっか。

教習生 教習中や！ ホンマうっさいねん！ ……何で乗ってるねん。

教官 ほら、ブレーキ！

教習生 すいません。

老人 怒鳴ることないやろうが！

教官 すいません。…(教習生に) はい、クラッチもうちよい早く切って。

老人 おまえの人生のクラッチも切ったるか。

教習生 煩いねん！ 意味わからんから！

老人 ごめん。

教官 …君それ、ハンドルの持ち方がなっていないなあ。十時十分って言うたなあ。君の十時十分はそれか？

老人 何でそんな意地悪な言い方しかでへんねや！ 何や「君の十時十分はそれか」て！ ホンマにそういう時間の概念の子やったらどうするねん！

教習生 煩いねん！ 俺が間違ってたから注意くれてんねやろうが！ 何で親父がキレてんねん！

老人 そやけど言い方が…。(教官に) もっと優しく言えや！

教習生 ええねん！ こんなもんやねん！ 大体こんなもんやねん！ 鼻屑してるみたい  
に思われるやんけ！ これで通ったかて、親父おったからやって思われたら嫌や  
ん。

教官 はい！ 一速に落とす！

老人 川原君の昇給のペースも一速に落ちます。

教習生 何でそんなこと言うねん！

運転中。

教官 はい。はい。はい。そしたら、あそこまた信号ありますね。

老人 (あるのに) ないわ！

教習生 …。これ黄色、行っていないんですかね。

教官 こういう時どうする？ 教えたよ？ 教えたよ！

教習生 そのまま行きます。

教官 行ったらあかん！

教官が急ブレーキを踏む。

老人 おまえが焦らすからやろ！ ちよっと、エンジン止めよ！ エンジン止め！ エ

ンジン止め！ ちよ、降りろゴルア！

教習生 やかましいからでけへんんけ！

老人 今のはないわ！ 今のはないやろ！ 意地悪すぎるやろ！ 意地汚いわ今は！

止まれ言うたらええやん！

教習生 煩い！ 親父が叫ぶから後ろからビーって鳴らされたやろ！

教官 青になったからや！

教習生 すいません。

老人 …おまえのせいやろうが元々。

教習生 コース外れたねえ。次の左、路地入って。道狭いし、人いきなり出て来るからスピ-

ドあんま出さないようにね。

老人 …何でホテル街やねん！ もっと広い道選べばええやろうが！ こんな狭い道！

それにラブホテルから出て来る人はいかにもずつと道歩いてましたよって感じ

に誤魔化そうとパツと出て来るから読みづらくて危険過ぎるやろうが！

教習生 危ないんは親父の声や！ 何でいちいちつかかるねん！

老人 何でこんな道通るねん！

教官 いえ、コースに戻るために。

老人 おまえは一度外れたコース二度と戻れる思うなよ。

教官 …その自転車のおばちゃん気をつけてね。

教習生 おばちゃん、寄って来るな…。

教官 …。

教習生 何でおばちゃん、止まる時降りるんですかね…。

教官 はい、気をつけて抜いて。

教習生 …あ、降りた。

教官 …。いきなり人が出て来るかも知れんから気をつけてね。ほらホテルから出て来たで。

老人 だから言うたやろうが！ 何でこんな道選ぶねん！

教習生 お、おかん!?

老人 みさえ!?

車の前を、気づかずに通り過ぎる教習生の母。目で追う三人。

老人 誰やあの男はああああ！ うおおおお！ うおおおお！

教官 所長！ 所長！

教習生 親父！

老人、運転席に身を乗り出す。

教習生 危ないって親父！

教官 所長！

老人 押さへんぞお！ 判子は押さへんぞお！ うおおおお！

終わり。